

令和5年度 施政方針について

(質問) 子どもたちの教育環境の新たな創造のための具体的な政策、今後老朽化していく学校の建て替え・改修など、教育環境の整備について問う。また、公立保育所・幼稚園の在り方について、今後の方向性について問う。

(答弁) 子どもたちが、楽しく安心して学ぶことができる学校づくりを目指し、新たな教育の創

造のための政策を進めていく。学校設備の整備については、児童生徒数の減少や社会的ニーズの変化といった教育環境の課題も踏まえ、適切な改築や改修などを計画的に実施していく。また、「鈴鹿市立保育所・幼稚園施設整備に関する基本方針」を踏まえ、施設利用者数の変化などを見据えて、施設整備を進める。今後については、幼児教育・保育を取り巻くニーズを精査し、行政として必要とされるサービスを幅広く検討し、安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいく。



市長の社会環境と自然環境に対する展望について ほか

(質問) ①今後の鈴鹿について、どのような将来都市像やビジョンを持っているのか。②高等教育卒業の女性に鈴鹿で住み続けてもらう視点で、女性の就労をどのように考えるのか。③自治体経営に関する若い世代の参画についての考えは。④経常収支比率の改善、経常的な支出の削減に対する市長の考えは。

(答弁) ①人口20万人都市としてさらなる発展を目指す。10年後の姿は、誰もが健やかに自分らしく暮らし続けられる、持続可能なまちが創造されている。②官民一体で女性を含めた地元雇用に取り組んでいく。③次世代を担う若者が積極的に参画できる風土を根付かせることが重要である。④経常収支比率は近年90%前後で推移していることから、上振れしないよう留意し財政の柔軟性向上を目指す。行政評価を基に事業の廃止や縮小などを協議し、計画的に取り組んでいく。



令和5年度施政方針を質す

(質問) 国家や地方自治体の本来的役割は、住民の生命・身体・財産の安全を守ることである。公園などへの防犯カメラの設置や、交差点への車両用防護柵の設置など、市民の命を守る施策を最優先して最大限の予算を投入するという、自治体としての本来的責務を果たす正しい認識を、首長としてお持ちか。

(答弁) 鈴鹿警察署との協議の結果、駐車台数が多い、犯罪認知がある、小中学校の通学路に隣接するなどの条件から、市が管理する5つの公園を選定し、犯罪抑止に最も有効と考えられる出入口付近を基本に、3年間で計13台の防犯カメラを設置したい。交通安全施設は、地域からの要望を基に必要性や緊急性を考慮し、優先すべき物から順に対応する。防犯カメラや交通安全施設は、市民の大切な命と財産、暮らしを守る有効な手段の一つであり、今後も適正な設置に努める。



施政方針について

(質問) ①浸水被害軽減への取り組みについて、②消防・救急体制について、北部地域の一部で現着時間が遅れるが、その対応について、③不妊治療費助成の拡充について聞く。

(答弁) ①雨水対策施設の整備は、重点地区である金沢雨水幹線の改修および準用河川である北長太川・稻生新川の改修事業を引き続き実施する。

②消防力適正配置調査報告書の内容を踏まえ、北部地域の消防・救急体制の強化に向け取り組む。③不妊治療が保険適用となり、治療の経済的負担が小さくなったが、妻の年齢制限や治療回数制限が設けられ、また、一部の先進的な治療が保険適用外となり、自己負担額が増えるケースもある。本市では県独自の特定不妊治療費助成事業を活用し、特定不妊治療における先進医療の治療費に対する助成と、保険適用の回数制限を超過した治療に対し治療回数を追加する助成を行う。

